

主の年 2015年

明けましておめでとうございます。この年も皆様に神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

＝ 宝塚栄光教会の日曜日 ＝

主日礼拝 午前10:30~11:45

一週間の初めの日は聖なる日として神様を礼拝します。賛美歌を歌い、祈りをささげ、聖書を読みます。聖書から語られる神のメッセージに耳を傾けます。清い心をもって一週間を始めていきましょう。



昼食

婦人会の方々の手によるお昼の食事は格別です。神様に食前の感謝の祈りをささげてから「いただきます！」楽しい食事のひとときです。

婦人会お仕事会

食事の後、婦人たちは何やら針と糸を出して…。タペストリーなどはこの時に作成されます。



子どもチャペル 午後1:00~2:00

子どもたちのための聖書のお話の時。楽器を使っての子どもの賛美はリズミカルで楽しそう。



聖歌隊の練習

聖歌隊のメンバーはたゆまず、練習を続けています。イースターやクリスマスに聞くすばらしい聖歌隊の賛美は、日々の地道な練習の成果です。今年のクリスマスも「メサイア」を歌いました。



クリスマス後日談 ～クリスマスを終えて～



マリヤへの受胎告知、家畜小屋でのイエス様誕生、羊飼いたちへの知らせ、東方の博士たちの来訪など、一連のクリスマス・ストーリーは有名です。しかし、その後のイエス様一家の足取りはどうなったのでしょうか。

東方の博士たちの訪問を受けたヘロデ大王は、大きな不安を覚え、ベツレヘム周辺の2才以下の男児を皆殺しにする命令を出します。しかし、天の使いがヨセフに、危険が迫っていることを知らせ、エジプトに逃避するよう勧告します。ヨセフとマリヤは幼子イエス様を連れて、ひそかに数百キロも離れたエジプトに下り、難を逃れます。やがて王が死んだことが知らされたので、彼らはユダヤの国に帰りますが、ヘロデの息子アケラオが王位を継いだと知って、用心のためにガリラヤのナザレに住みます。イエス様が「ナザレ人」とか「ナザレのイエス」と呼ばれたのはそのためです。

もしイエス様がヘロデの手にかかるて殺されていたら、十字架にかかるて死なれることはなく、私たちの救いはなかったはずです。神様の計画は、人間の立てる計画をはるかに超えているのです。



インフォメーション

チャペルコンサート vol.36

2月22日(日)16:00~

ハンマーダルシマーの演奏をお楽しみ下さい。

稻岡大介 関西屈指のダルシマー奏者
グループ「ミュージックフィールズ」



ケアプラン デイサービス

オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」

☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」

☎:0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

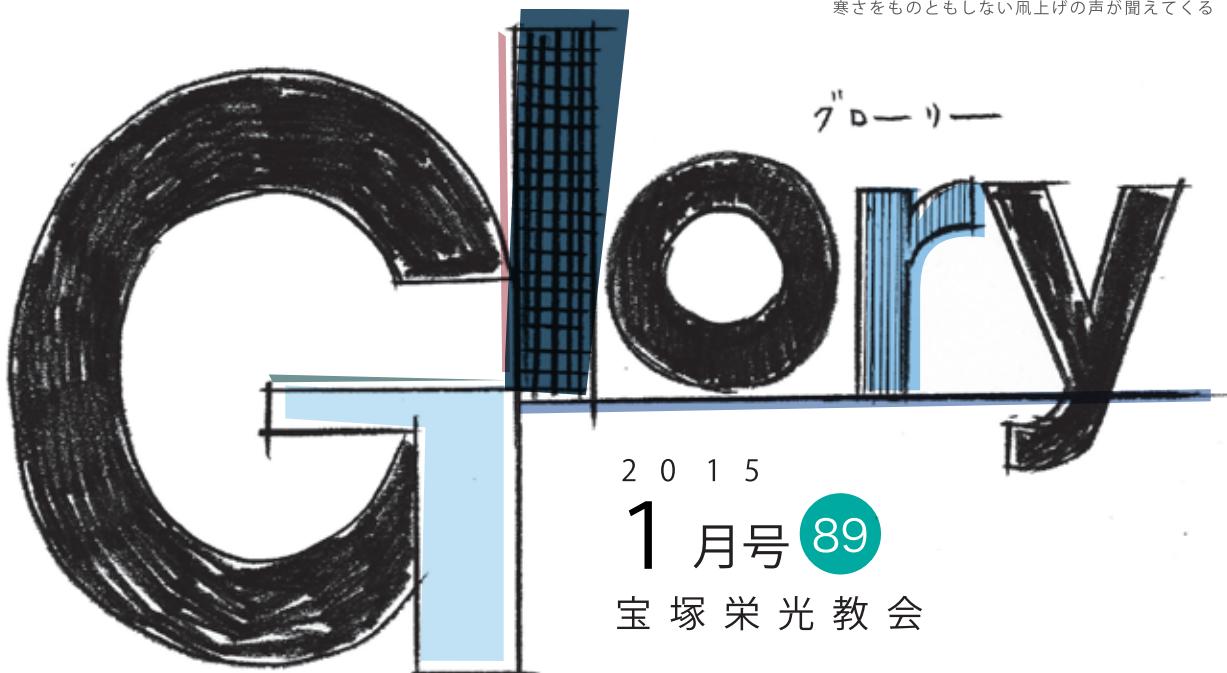
E-mail : info@takara-eikou.com

希望のダイヤル 0797-77-3746

わたしたちは統一教会、ものの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もし困りの方はご相談ください。

毎週更新。24時間つながります。
ボッドキャスト
でも配信中！
ホームページから
利用できます。

寒さをものともしない凧上げの声が聞えてくる



2015
1月号 89

宝塚栄光教会

新しいみわざを求めて

新しい年が明けました。この年も、あなたの上に神様の恵みが豊かにありますようにお祈りいたします。

新年は、気持ちも新しくして出発する時です。お正月に多くの方々が初詣に行かれるのも、新しく出発したいという決意と願いをこめてのことでしょう。しかし、私たちは、新しくしてくださるお方を知らないければなりません。聖書にこう書かれています。

「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。」(イザヤ書43章19節)

「わたし」とは、天地を創造された、ただお一人のまことの神様です。私たちは、この神様の前に汚れた罪びとで、そのままでは滅んでしまう者でした。しかし、神様は私たちを愛してください、私たちが滅びないようにと、イエス・キリストをお送りになりました。

キリストは、33年半の生涯の後、十字架にかかりて死なれました。それは私たちの罪のためでした。キリストは罪のないお方でしたのに、罪びとの私たちに代わって十字架にからられたのです。私たちが滅びないで、罪から救われるためです。私たちが自分の罪をおわびして、十字架を信じれば、誰でも、どんな罪も赦され、救われます。そして、生まれ変わった光の子として、新しい人生を歩んでいくことができるのです。

「新しい事をする」とは、まず私たちのうちに、この造り変えのみわざがなされることです。これは、目があっても見ることができず、手があっても救うことができない偶像には、とうてい不可能のことであり、まことの神様だけがなし得ることなのです。

あなたは、本当に新しくなりたいと願われますか。それなら、ぜひキリストのもとにおいてください。そして、内になされる新しいみわざを体験してください。

「カラマツの樹氷」



青空が 広がった

山頂に向けて 歩いている時だつた

今冬の雪は 早くから 降り積もり
はたして山頂に たどり着けるかどうか

氷の道を 歩む

自分の足音だけが ザクザクと 韶いている
あとは何も 聞こえない

この静寂が たまらなく 好きだ

無心に歩いて しばらく登つていくと

突然 唐松の林に 出くわした

目に飛びこんできたのは 樹氷の白 そして 空の青

思わず 立ちどまつた

圧倒されるような 美しい樹氷だつた
物音ひとつ立てず 静かにそびえている
あたり一面を 凜とした空氣で つつんでいる
なんと纖細な 氷の花だ

日ざしが当たると 一斉に光を反射して
眩いばかりに 美しく輝いている
今年は この樹氷の光を 目におさめ
光に向かっていく年としよう
胸をはって 元気を出して
力いっぱい 歩いていこう

雪が深く 山頂は断念した

主の山に登るべき者は だれか
その聖所に立べき者は だれか
手が清く 心のいさぎよい者
その魂がむなしい事に 望みをかけない者
偽つて誓わない者こそ その人である
このような人は 主から祝福をうけ
その救いの神から 義をうける